

米国市場は2営業日続伸

横山 泰史

業種:日本株ストラテジー

反発

週明けとなった昨日の東京市場では、大幅高で終えた週末の米国市場を好感して、日経平均は前週末比+327円(+1.2%)の2万7527円で終えた。業種別では鉄鋼(前週末比+3.3%)、海運(同+2.4%)、金属(同+2.3%)が上昇率の上位、空運(▼0.9%)、繊維(同▼0.4%)、ガス(同▼0.1%)が下位であった。個別銘柄では、23.3期の会社予想の上方修正を発表した三井倉庫HDが前週末比+11.6%の上昇となって年初来高値を更新、飯野海運(前週末比+11.9%)、川崎汽船(同+6.6%)といった船株やJFEホールディングス(同+7.2%)、山陽特殊鋼(同+6.0%)、神戸製鋼所(同+3.8%)といった鉄鋼株が上昇した。一方で、23.3期通期の純利益の予想を引き下げた帝人が前週末比▼9.2%の下落となって年初来安値を更新、同じく23.3期の純利益予想の下方修正を発表したリコーが同▼7.8%の下落で終えた。

続伸

現地7日の米国市場では、米中間選挙にて共和党が下院の大多数を確保する見通しが高まったことから、大企業に逆風となる法案可決の動きが弱まるとの見方が強まり、NYダウは前週末比+423ドル(+1.3%)の3万2827ドル、ナスダックも同+89ポイント(+0.8%)の1万564ポイントで終えた。個別銘柄では、人員削減の報道が好感されたメタが前週末比+6.5%の大幅上昇となり、新型iPhoneの出荷が遅れていると報道が嫌気されて寄り直後は売られたアップルも引けは+0.3%と上昇で終えた。先週末に続き、クアルコム(同+3.1%)、ウェスタンデジタル(同+3.3%)、アプライドマテリアルズ(同+3.6%)といった半導体関連銘柄が高く、SOX指数は前週末比+2.1%となり、アルファベット(前週末比+2.2%)、アドビ(同+4.8%)、マイクロソフト(同+2.9%)などが高い。一方で、テスラが前週末比▼5.0%の下落であった。WTI原油先物は前日比▼0.8%の91.79ドル、米10年債利回りは同+0.05%の4.21%で終えた。

今日の予定

先週末のシカゴ日経平均先物は、大証比+70円の2万7620円で終了、今朝のドル円は1ドル146.60円程度(7時10分現在)で推移している。今日は、国内では日銀金融政策決定会合の主な意見(10月27~28日開催分)、清水建設、東レ、住友金属鉱山、ダイキン、任天堂、三菱商事、NTTが決算を発表、海外では米中間選挙がスタート。

東京市場マーケットデータ

2022/11/7 現在

日経平均	2万7527円
プライム売買代金	2兆9125億円
プライム時価総額	688兆1698億円
日経平均予想PER	12.5倍
日経平均PBR	1.2倍
日経平均配当利回り	2.3%

出所: Quick

日経平均パフォーマンス

年初来高値	2万9388円	2022年01月05日
年初来安値	2万4681円	2022年03月09日

出所: Quick

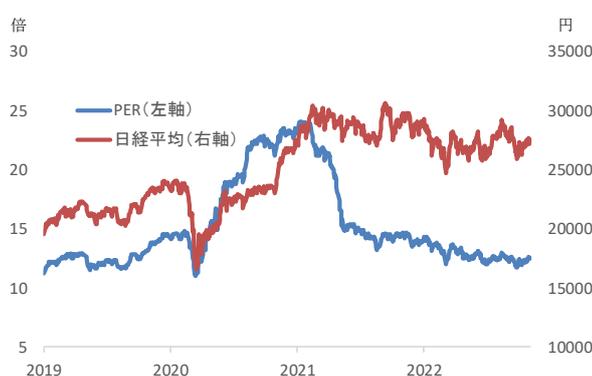
国内株式売買代金ランキング

2022/11/7 現在

	株価前日比
1 ソフトバンクグループ	0.6%
2 レーザーテック	2.8%
3 東京エレクトロン	3.7%
4 ファーストリテイリング	1.5%
5 川崎汽船	6.6%
6 ソニーグループ	1.3%
7 任天堂	2.8%
8 日本郵船	1.5%
9 トヨタ	0.4%
10 メルカリ	0.1%

出所: Quick、アイザワ証券作成

日経平均と予想PERの推移



出所: Quick

金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

アイザワ証券 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

LINE公式アカウント
はじめました！

ベトナムを中心としたアジア情報
をお届けします。

[友だち追加はこちらから！](#)



ID : @aizawa